

教室にあたたかい雰囲気をつくるワーク

「みんなで長所発見！」(45分)

～「教室全体が温かい」。いじめと逆の経験をもたらず授業～

教育エジソン

「見方を変えて長所発見！」のワークに、匿名による「励まし合い」のワークを加え、クラスの温かな雰囲気をつくることをねらいとした授業。

教科書に「死ぬ」と書かれると、誰の仕業かわからずクラス全体が敵になる(＝匿名によるいじめの恐さ)。逆にこのワークでは、誰だかわからない3人から温かなメッセージをもらう。すると、教室全体が温かく、仲間だと感じられる(＝匿名による善意の力)。生徒たちが本来持つ「優しさ」を引き出す仕掛けでもある。

1) 展開例 ※別紙ワークシートは、P1とP2、P3とP4を表裏印刷で用意

| 累積時間 | 各時間 | 内容 |
|------|---------------|--|
| 5分 | 導入 5分 | ワークのねらいを話す ①自分自身に気づきを深める。 ②仲間同士認めあう。 「途中、仲間にメッセージを書く課題があるが、感謝と友情を込めて、温かな気持ちで書いてほしい」。 |
| 15分 | WS1 表裏 10分 | ワーク1；自分の短所について考える。 ワーク2；短所を別の見方で見ると。 |
| 20分 | WS2 5分 | ワーク3；個別作業(無記名) 短所と具体例 裏面にマーク書き |
| 25分 | 5分 | WS回収・操作・再配布 →〈手順1〉参照 |
| 35分 | 匿名回覧 10分 | ワーク3；無記名のWSを配布。作業させる。 2分ごと、教師の合図で一斉に次へ回す。 (席順で前から後ろ、後ろから前へと連続で) |
| 45分 | まとめ 10分 | 本人戻し〈手順2〉参照。 熟読・感想書き 記名(「無記名で作業します」の下に) いったん集める。→目を通して後日返却 |

〈手順1〉回収・操作・再配布の手順 ～自分のシートが回ってこないように～

- ①各列の集めた生徒にシャッフルを命じる。→列ごとに受け取る。
- ②教卓下で作業。集めたシートの右2列分を左4列分を重ねた上に置く。
- ③左列からふつうに、各列人数分にとって配布。

〈手順2〉本人戻しの手順 ～裏マークで各自取らせる～

- ①匿名回覧が終わったら各列で集めさせる。
- ②教卓とその横の生徒机に全部のシートを裏返して広げる。マークが見えるように。
- ③1, 2列ずつ生徒に前に来させて、自分のシートを持って帰らせる。

2) 生徒の感想から

全日制普通科高校 2 年生 約 35 名の 2 クラスで学年末に実施

- とても嬉しい。励ましのメッセージがすごく優しくて元気づけられました。(女子)
- 3人が書いてくれたメッセージはその通りだなと思いました。これを読んでとても励みになりました。自分の性格があらためてわかり、よかったです。(男子)
- 自分のマイペースが嫌いだったけど、客観的に見たらこんなによいことを書いてくれてうれしい!! 短所も長所と考えれば好きになった!! (女子)
- メチャクチャ元気になれましたー! (男子)
- ポジティブなことばでほめられると気分が良いと感じた。考え方を換えれば良いものになる。(男子)
- 気にしすぎるのも悪くないと思った。気にしすぎても周りを見れているのだとわかった。(女子)
- みんないろんな見方でものごとを見られていて、すごいなと思った。(男子)
- 自分の短所についてこういうふうに言ってくれるのが一番ありがたいし、感動した。これから自信をもって、やりたいことができる。(男子)
- お節介なのはうれしい人とうれしくない人と思うけど、もう少し気を遣いながら人と接することができたらいいなと思った。皆、やさしいとか、めっちゃいいとか書いてくれて、今後につなげられたらいいなと思った。(女子)
- こういうふうに励ましをもらったのは初めてのことなので、とてもうれしかった。(男子)
- 自分から見た悪いところは他の人から見たら大した問題じゃなくて、考えすぎないことが一番うまく行くんじゃないかと思いました。(女子)
- ポジティブに変換してくれて、自分もこの励ましメッセージのように考えようと思えたし、自分の短所が小さいことに感じて楽になった。(女子)
- こういうことは直接言ってもらえることがなかったので、うれしかったです。少しだけ自信がつきました。(男子)